

参 考 資 料

【 目 次 】

1) 今後5年間における取組項目の対応状況 1

1) 今後5年間における取組項目の対応状況(様式1)

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	
姫川の洗濯状況の把握・理解	○ 継続	出水時における姫川の洗濯の状況及びメカニズムについては、未だ完全に説明されていないため、引き続きモニタリング調査を継続する。													継続
	○ 継続	継続して調査を実施中													
水位・気象情報等の情報発信	○ 継続	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。	○ 継続	・早期注意情報（警報級の可能性）の提供 ・警報等発表時の危険度の色分けによる警戒期間と予測の提供については、防災対応支援の一環として引き続き提供を継続する。	○ 継続	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水位等の情報発信を行っていく。	○ 継続	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水位等の情報発信を行っていく。	○ 継続	引き続き、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。	○ 継続	市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して適時適切な情報発信に努める。	○ 継続	防災行政無線の整備が完了し、本システムを活用した情報提供に努める。	継続
	○ 継続	継続して情報発信を行った	○ 継続	気象状況に応じ、情報発信を行った。 ・[R03.10]最大危険度予測（土砂災害・浸水害・洪水）を用いた警戒呼びかけ・キキル（危険度分布）の改善：警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設	○ 継続	継続して情報発信を行った。 共通：避難勧告等一避難指示等に修正	○ 継続	継続して情報発信を行った	○ 継続	継続して情報発信を行った。	○ 継続	市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して適時適切な情報発信に努める。	○ 継続	防災行政無線の整備が完了し、本システムを活用した情報提供に努める。	継続
プッシュ型配信の運用開始	× 完了	運用開始が目標であり、取組目標を達成済み。			× 完了	プッシュ型配信を始めとした情報発信のルールは十分整備済み。	× 完了	糸魚川市がH29年5月より運用開始済み。	× 完了	プッシュ型配信を始めとした情報発信のルールは十分整備済み。 今後はその情報の精度や伝達の確実性の向上など、運用面の充実を図る他の取組を行う。	× 完了	プッシュ型配信を始めとした情報発信のルールは十分整備済み。 市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して適時適切な情報発信に努める。	× 完了	妙高安全・安心メール、緊急連絡メール、防災無線等による緊急情報提供の取組みについて実施済み。	完了
防災情報の更なる普及のための周知・広報									○ 継続	引き続き、気象情報記事を広報上越へ掲載していくため。	○ 継続	年々変わっていく防災情報や災害時の対応のほか、自主防災組織の役員などの交代等にも対応するため、毎年継続して出前講座や防災リーダー研修を開催するほか、広報紙等で必要な情報提供を行う。	○ 継続	外部講師を招聘しての研修会を開催する。	継続
	○ 継続	引き続き、防災関連情報を広報上越等へ掲載し、防災情報の周知・普及を図った。							○ 継続	引き続き、防災関連情報を広報上越等へ掲載し、防災情報の周知・普及を図った。	○ 継続	年々変わっていく防災情報や災害時の対応のほか、自主防災組織の役員などの交代等にも対応するため、毎年継続して出前講座や防災リーダー研修を開催するほか、広報紙等で必要な情報提供を行う。	○ 継続	外部講師を招聘しての研修会を開催する。	継続

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載 されている取組事項	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	
水防連絡会、情報伝達訓練の実施	○	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	継続
	○	一部web対応にはなったが、継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	【R03.4.20】洪水対応演習を実施した。	○	継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○	一部web対応にはなったが、継続して水防連絡会に参加し、また、情報伝達演習等を実施した。	○	関川姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を実施した。洪水対応演習にて、国・県・市共同の情報伝達訓練を実施した。	○	災害発生時の適切な避難指示等の発令に備え、引き続き連絡体制の確認のほか、情報伝達訓練、総合防災訓練を実施する。	○	関係機関と情報伝達訓練を実施する。	
洪水時における自治体への情報伝達（ホットライン）の確立及び実施	○	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	災害法に基づく動言機関としての責務遂行のため引き続き、ホットラインによる市町村支援を実施する。	○	洪水時、避難勧告等の発令基準に達しているにも関わらず、災害の混乱等により市長が避難勧告を出していない時などは、重要なツールとなるため、引き続き活用していくとともに、情報伝達訓練等においても訓練していく。	○	ホットラインは緊急時に役立つことから引き続き継続する。	○	ホットラインの継続を図る。	○	市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	ホットラインの継続を図る。	継続
	○	継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	気象状況に応じ、適宜実施した。	○	継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	情報伝達演習等を実施した。	○	国・県とホットラインを構築済み。	○	ホットラインの継続を図る。	○	ホットラインの継続を図る。	
避難勧告等の発令に着目したタイムラインの整備・改善・支援	×	避難勧告等の発令に着目したタイムラインの整備等に必要な浸水想定区域図等の資料は提供済み。 なお、また新たな資料提供が必要な場合は、取組項目に新規追加の上、速やかに実施するものとする。	×	避難勧告等の発令に着目したタイムラインの整備等に必要資料は提供済み。	×	避難勧告等の発令に着目したタイムラインの整備等に必要資料は提供済み。	×	実施済み。	×	タイムラインの発動について、検証済み。	×	風水害対応タイムラインとして、気象・防災情報の監視体制、避難勧告等の発令基準、関係機関との連携について整備済み。 訓練等の実施により、適宜見直しを行う。	×	タイムラインの発動について、検証済み。	完了
水害タイムラインの検討・作成	○	引き続き実施するものとする。	○	引き続き実施するものとする。	○	引き続き実施するものとする。	○	引き続き実施するものとする。	○	引き続き実施するものとする。	○	引き続き実施するものとする。	○	引き続き実施するものとする。	継続
	○	検討中	○	支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施	○	タイムラインの見直しを実施した。	○	検討中	○	既存の水害タイムラインを災害法の改正に合わせ、更新を行った。	○	引き続き実施するものとする。	○	引き続き実施するものとする。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

被災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
「大規模氾濫防災協議会」の運用に記載されている取組事項	今後5年間の対応														
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容													
水位周知河川の検討及び指定	○	継続	○	継続	○	継続	×	完了	○	継続	×	完了	○	継続	継続
	○	継続	○	継続	○	継続	-	-	○	継続	-	-	○	継続	
水位周知河川の指定状況に関する情報共有	○	継続	継続												
	○	継続													
※前項10と統一															
水位予測の検討及び精度の向上	○	継続			○	継続	○	継続							継続
	○	継続			○	継続	○	継続							
川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信の開始	×	完了			×	完了	完了								
洪水予報文の改良	×	完了	×	完了											完了

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容	
気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善			×	完了		気象情報発信の内容等は改善済み。 なお、早期注意情報(警報級の可能性)の提供や、警報等発表時の危険度の色分けによる警戒期間と予測の提供については、防災対応支援の一環として引き続き提供を継続する。									完了
広域避難計画の策定・支援	×	除外	×	除外	×	除外	×	除外	×	除外	×	除外	×	除外	除外
要配慮者における避難確保計画の作成・支援	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	継続
	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	
想定最大規模も含めた破壊点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	×	完了			×	完了			○	継続					継続
	-	-			○	継続			○	継続					
※前項18と統一															

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項	今後5年間の対応														
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容													
想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップの改良・周知	×	完了			○	継続	×	完了	○	継続	×	完了	○	継続	継続
	-	-			○	継続	○	継続	○	継続	△	継続	○	継続	
先進事例等を踏まえた分かりやすい洪水ハザードマップの改良	○	継続	継続												
	○	継続	継続												
※前項22と統一															
まるごとまちごとハザードマップの整備	○	継続			○	継続	継続								
	○	継続			○	継続	継続								
マイタイムライン作成の普及促進・支援	○	継続			○	継続	継続								
	○	継続			○	継続	継続								

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)	
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応			
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容		
重要水防箇所の共同点検の定期的な実施	○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。			○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。			○ 継続	点検は重要であることから継続する。	○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の点検は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。	継続	
	○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施			○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施			○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施	○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施	○ 継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	自主防災組織との合同点検を検討する。
自主防災のあり方・役割の啓発									○ 継続	有事に備えるため、引き続き啓発を行う。	○ 継続	地域防災力の維持・向上のため、自主防災組織と連携した避難訓練等を実施する。	○ 継続	外部講師を招聘しての研修会を開催する。	継続	
									○ 継続	いつ発生するかわからない自然災害に備えるため、チラシ等を配布し、啓発を行った。	○ 継続	地域防災力の維持・向上のため、自主防災組織と連携した避難訓練等を実施する。	○ 継続	外部講師を招聘しての研修会を開催する。	継続	
実践的な研修・訓練の実施									○ 継続	地域防災力の向上を図るため、引き続き研修会等を実施する。	○ 継続	自主防災組織が行う自主的な避難訓練等の防災活動を支援するとともに、防災リーダー研修を開催し、必要な知識・情報を伝えていく。	○ 継続	・防災用品購入に対する補助金について、令和4年度までの時限事業（延長の予定なし）。 ・消防団との合同や避難所運営など、より実践的な訓練となるよう、自主防災組織へ依頼を継続する。	継続	
									○ 継続	町内会長を始めとする地域の防災リーダーを対象としたハザードマップ活用研修会を開催し、地域防災力の向上を図った。	○ 継続	自主防災組織が行う自主的な避難訓練等の防災活動を支援するとともに、防災リーダー研修を開催し、必要な知識・情報を伝えていく。	○ 継続	・防災用品購入に対する補助金について、令和4年度までの時限事業（延長の予定なし）。 ・消防団との合同や避難所運営など、より実践的な訓練となるよう、自主防災組織へ依頼を継続する。	継続	
自主防災組織の設立支援・防災士の養成	○ 新規	自主防災組織の設立・防災士の養成について、支援していく							○ 継続	地域防災力の向上を図るため、引き続き防災士養成講座を開催する。	○ 継続	自主防災組織補助金制度により、自主防災組織が行う資機材整備や活動費、環境整備費を支援していく。	○ 継続	防災士資格取得のための補助制度を継続する。	継続	
	○ 新規	必要に応じて継続して支援予定							○ 継続	地域防災力の向上を図るため、引き続き防災士養成講座を開催した。	○ 継続	自主防災組織補助金制度により、自主防災組織が行う資機材整備や活動費、環境整備費を支援していく。	○ 継続	防災士資格取得のための補助制度を継続する。	継続	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所	新潟地方気象台	新潟県上越地域整備部	新潟県糸魚川地域整備部	上越市	糸魚川市	妙高市	今後5年間の 対応方針 (案)							
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項	今後5年間の対応	今後5年間の対応	今後5年間の対応	今後5年間の対応	今後5年間の対応	今後5年間の対応	今後5年間の対応								
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外 実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外 実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外 実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外 実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外 実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外 実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外 実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外 実施内容							
水防連絡会、情報伝達訓練の定期的な実施	○ 継続	出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も継続して、情報伝達訓練に参画する。	○ 継続	出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	訓練は必要であることから継続する。	○ 継続	有事に備えるため、連絡体制の確認や情報伝達訓練を引き続き行う。	○ 継続	出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	関係機関との訓練を継続する。	継続
	○ 継続	一部web対応にはなつたが、継続して水防連絡会、洪水対応演習等を実施した。	○ 継続	【R03.4.20】洪水対応演習を実施した。	○ 継続	継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○ 継続	一部web対応にはなつたが、継続して水防連絡会に参加し、洪水対応演習等を実施した。	○ 継続	有事に備えるため、連絡体制の確認や情報伝達訓練を引き続き行った。	○ 継続	出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	関係機関との訓練を継続する。	
避難訓練の実施及び実施状況の情報共有			○ 継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予備官」として市町村支援を引き続き実施する。					○ 継続	市が委嘱する防災アドバイザーを派遣し、自主防災組織や町内会における防災体制を整えるとともに、訓練等の重要性について説明する。	○ 継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止したが、規模や実施方法を工夫し、毎年実施していく。	○ 継続	防災士又は市職員による講話を継続する。	継続
			○ 継続	支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。					○ 継続	引き続き実施中	○ 継続	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全市一斉での防災訓練とせず、自主防災組織役員等を対象とした感染症対策を踏まえた避難所設置・運営について訓練した。	○ 継続	防災士又は市職員による講話を継続する。	
水災害教育の継続的な実施	○ 継続	水災害教育については、今後も継続して実施していくことで、一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため自治体の要請に応じた支援体制を維持する。	○ 継続	・水災害教育については、今後も継続して実施していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んでいく。	○ 継続	防災教育は重要であることから継続する。	○ 継続	有事に備えるため、引き続き水災害教育を行う。	○ 継続	水災害に限らず、様々な災害にも対応できるよう実施内容を見直しながら実施していく。	○ 継続	防災士又は市職員による講話を継続する。	継続
	○ 継続	有識者を招いた水災害教育を実施した。	○ 継続	支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	○ 継続	・水災害教育については、今後も継続して実施していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んでいく。	○ 継続	出前講座「新潟県マイタイムライン教室」を実施。	○ 継続	小中学校等で避難訓練を実施。河川付近の学校で、水害想定避難訓練等を実施。	○ 継続	水災害に限らず、様々な災害にも対応できるよう実施内容を見直しながら実施していく。令和3年度においては、新潟県糸魚川地域整備部と共同して、糸魚川白嶺高校においてマイタイムライン教室を開催した。	○ 継続	防災士又は市職員による講話を継続する。	
出前講座等の説明会の継続的な開催	○ 継続	水災害教育については、今後も継続して実施していくことで、一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、出前講座等の要請に対応する。	○ 継続	・水災害教育については、今後も継続して実施していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んでいく。	○ 継続	防災教育は重要であることから継続する。	○ 継続	有事に備えるため、引き続き水災害教育を行う。	○ 継続	引き続き、学校からの要請に応じ、出前講座を実施していく。	○ 継続	防災士又は市職員による講話を継続する。	継続
	○ 継続	水災害等に関する出前講座を実施した。	○ 継続	出前講座等の機会に水防災に関する防災気象情報を説明した。	○ 継続	・水災害教育については、今後も継続して実施していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んでいく。	○ 継続	出前講座「新潟県マイタイムライン教室」を実施。	○ 継続	外部機関等からの要請に応じ出前講座等を実施した。	○ 継続	引き続き、地域や学校からの要請に応じ、出前講座を実施していく。	○ 継続	防災士又は市職員による講話を継続する。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 凡例 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	
広報資料の作成、配布	○ 継続	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料の作成や配布については、今後も継続して実施していくことで、一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、広報資料等の配布を継続する。	○ 継続	当該取組は継続していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んで行く。	○ 継続	住民への周知のため継続する。	○ 継続	今後も定期的に広報誌に掲載する。	○ 継続	ハザードマップの配布や市広報紙への掲載のほか、防災意識の醸成に役立つグッズ等の研究・作成を行っていく。	○ 継続	市報による意識啓発を継続する。	継続
	○ 継続	デジタルサイネージ等、必要に応じて広報資料を配付	○ 継続	水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用 ・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施	○ 継続	当該取組は継続していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んで行く。	○ 継続	広報資料(ビラ)を配付	○ 継続	炎対法改正の周知のチラシによる住民周知や、ハザードマップの配布など、広報活動を実施した。	○ 継続	防災情報を広報紙へ掲載するほか、防災意識の醸成に役立つグッズ等の研究・作成を行う。	○ 継続	市報による意識啓発を継続する。	
危機管理型水位計の配置計画の見直し・設置	× 完了	危機管理型水位計について必要十分な整備が図られた。			× 完了	危機管理型水位計の十分な整備が図られた。	× 完了	危機管理型水位計の十分な整備が図られた。							完了
CCTVカメラ、簡易水位計、量水標の設置	× 完了	簡易型河川監視カメラについて必要十分な整備が図られた。			× 完了	簡易型河川監視カメラの十分な整備が図られた。	× 完了	簡易型河川監視カメラの十分な整備が図られた。							完了
河道掘削、急流河川対策、河道拡幅、築堤等の実施	○ 継続	現在整備中のため、継続実施。			○ 継続	緊急度を見極めながら引き続き実施していく。	○ 継続	必要に応じ実施していく。							継続
	○ 継続	維持掘削を継続実施。			○ 継続	引き続き、実施していく。	○ 継続	伐木を継続実施。							
堤防天端の保護、堤防裏法尻等の補強等の実施	× 完了	河川整備計画にある危機管理型ハード対策が全て完了した。			○ 継続	-	○ 継続	必要に応じ実施していく。							継続
	-	-			○ 継続	-	○ 継続	R3は実績なし。							
河川防災ステーション等の検討・整備	○ 継続	引続き、検討していく。			○ 継続	引続き、検討していく。	○ 継続	引続き、検討していく。	○ 継続	引続き、検討していく。	○ 継続	引続き、検討していく。	○ 継続	引続き、検討していく。	継続
	○ 継続	検討中			○ 継続	引き続き、検討していく。	○ 継続	検討中(R3は特に進展なし)	○ 継続	引き続き検討中	○ 継続	引き続き、検討していく。	○ 継続	引き続き、検討していく。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 凡例 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容													
浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供	×	完了			×	完了			×	完了					完了
立ち退き避難が必要な区域・避難方法の検討、垂直避難等、柔軟な避難方法の検討										○	継続		○	継続	継続
重要水防箇所の共同点検の定期的な実施	○	継続			○	継続			○	継続		○	継続		継続
水防資機材の定期的な確認・整備	○	継続			○	継続			○	継続		○	継続		継続

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	
新技術を活用した水防資機材の検討・配備	○ 継続	引き続き、検討していく。			○ 継続	引き続き、検討していく。			○ 継続	引き続き、検討していく。					継続
	○ 継続	引き続き、検討中。			○ 継続	引き続き、検討中。			○ 継続	引き続き、検討中。					
水防実働訓練の定期的な実施	○ 継続	出水期前における水防実働訓練は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予備官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。	○ 継続	水防実働訓練は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	訓練は必要であることから継続する。	○ 継続	出水期前における水防実働訓練は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	出水期前における水防実働訓練は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	有事の際、迅速な水防活動が展開できるよう、消防団と連携し、関係機関が主催する水防訓練に参加する。	継続
	○ 継続	感染症対策により規模を縮小したが、水防実働訓練を実施。	○ 継続	水防実働訓練の実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○ 継続	引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	感染症対策により規模を縮小したが、水防実働訓練を実施。	○ 継続	感染症対策により規模を縮小したが、水防実働訓練を実施。	○ 継続	出水期前における水防実働訓練は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	有事の際、迅速な水防活動が展開できるよう、消防団と連携し、関係機関が主催する水防訓練に参加する。	
水防技術講習会の定期的な実施・支援	○ 継続	水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。			○ 継続	水防技術講習会は、有事に備えた技術の再確認のほか、関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	講習会は必要であることから継続する。	○ 継続	出水期前における水防訓練は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	消防団と連携し、水防技術向上のための訓練を開催するよう要請する。	継続
	○ 継続	水防訓練、水質事故対応訓練を実施。			○ 継続	引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	水質事故対応訓練に参加。	○ 継続	感染症対策により規模を縮小したが、水防実働訓練を実施。	○ 継続	水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	消防団と連携し、水防技術向上のための訓練を開催するよう要請する。	
排水実働訓練の定期的な実施	○ 継続	排水訓練や現地確認は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予備官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。	○ 継続	排水実働訓練は、有事に備えた技術や手順等の再確認のほか、関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	訓練は必要であることから継続する。	○ 継続	出水期前における水防訓練は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	排水訓練や現地確認は、有事の備えとして有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	有事の際、迅速な水防活動が展開できるよう、消防団と連携し、関係機関が主催する水防訓練に参加する。	継続
	○ 継続	適宜排水訓練や現地確認を実施。	○ 継続	排水実働訓練の実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○ 継続	引き続き、取り組んでいく。	○ 継続	R3は特になし。	○ 継続	感染症対策により規模を縮小したが、水防実働訓練を実施。	○ 継続	排水訓練や現地確認は、有事の備えとして有効であり、引き続き参加していく。	○ 継続	有事の際、迅速な水防活動が展開できるよう、消防団と連携し、関係機関が主催する水防訓練に参加する。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	実施内容	
水防協力団体の募集・指定									○ 継続	引き続き、消防団協力事業所の募集を行うとともに、消防団と協力していく。	○ 継続	水防活動の担い手として消防団員(水防団員)の確保は重要であり、引き続き募集活動を継続していく。	○ 継続	引き続き、消防団員の獲得に努める。	継続
									○ 継続	消防団活動に協力する「消防団協力事業所」について随時ホームページ等で募集を行っている。なお、水防協力団体に特化した募集は行っていない。	○ 継続	水防活動の担い手として消防団員(水防団員)の確保は重要であり、引き続き募集活動を継続していく。	○ 継続	引き続き、消防団員の獲得に努める。	
水防団との定期的な情報共有、連携									○ 継続	引き続き、実施していく。	○ 継続	迅速な水防活動につなげるため、水防連絡会での水防団の配置や管轄区域等の情報の共有を図っていく。	○ 継続	関係機関と情報共有を図る。	継続
									○ 継続	定期的な情報共有を実施している。	○ 継続	安心メールや公式LINEを通じた防災情報の提供など、引き続き、水防団との情報共有、連携を図る。	○ 継続	関係機関と情報共有を図る。	
地域防災計画(行政機能の保全)の充実、業務継続計画(BCP)の策定	×	完了	策定に必要な資料は提供済み。なお、また新たな資料提供が必要な場合は、取組項目に新規追加の上、速やかに実施するものとする。	×	完了	策定済み。	×	完了	×	完了	策定済み。	×	完了	策定済み。	完了
大規模工場等への啓発活動・支援	○ 継続		・地域経済の持続は重要であるため、国として可能な情報提供・支援は継続していく。	○ 継続		・地域経済の持続は重要であるため、県として可能な情報提供・支援は継続していく。	○ 継続		○ 継続	R3年度以降検討する。	○ 継続	各事業所で実施している対応(避難体制や浸水防止対策、備蓄品の整備など)に差があることを踏まえ、新たな浸水想定(想定最大規模)を踏まえた浸水リスクや水害対策等の情報提供を引き続き実施していく。	○ 継続	R3年度以降検討する。	継続
	○ 継続			○ 継続		R3は特になし。	○ 継続		○ 継続	引き続き検討中	○ 継続	各事業所で実施している対応(避難体制や浸水防止対策、備蓄品の整備など)に差があることを踏まえ、新たな浸水想定(想定最大規模)を踏まえた浸水リスクや水害対策等の情報提供を引き続き実施していく。	○ 継続	R4年度以降検討する。	
大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	○ 継続		現在検討中のため、継続実施。	○ 継続		有効かつ効率的な適用の実現が必要であると認識しているため、引き続き、検討していく。	○ 継続		○ 継続	必要に応じて検討する。	○ 継続	新たな浸水想定(想定最大規模)を踏まえ、排水施設や資機材の整備について、必要に応じて検討する。	○ 継続	新潟県と連携して検討する。	継続
	○ 継続		引き続き継続中。	○ 継続		引き続き検討していく。	○ 継続		○ 継続	R3は特になし。	○ 継続	新たな浸水想定(想定最大規模)を踏まえ、排水施設や資機材の整備について、必要に応じて検討する。	○ 継続	新潟県と連携して検討する。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例 ※上段：令和3年4月22日協議会時の今後の対応と実施内容
 ※下段：令和4年2月段階の実施状況（進捗）

減災のための取組項目 (概ね5年間)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項	今後5年間の対応														
実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	実施内容													
排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	継続
	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	
浸水被害軽減地区の指定の検討	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	継続
	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	
災害対応にあたる人材の育成	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	継続
	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	
災害情報の共有体制の確立	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	継続
	○	継続			○	継続			○	継続			○	継続	